

単元名：〔調べ方と整理のしかた（啓林館）〕 〔折れ線グラフと表（東京書籍）〕

① ( /1) ( /2) ( /5) ( /8) 得点  
 知識・理解 技能 考え方

4年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

○ なお子さんの学校で、けがをした場所と種類、人数を調べてまとめると、下の表のようになりました。次の問いに答えましょう。

けがをした場所とけがの種類（人）

場所	種類				合計
	すりきず	切りきず	ねんざ	打ぼく	
教室	3	4	0	0	ア
運動場	イ	2	5	3	17
体育館	2	0	4	ウ	11
階段	0	0	エ	1	4
合計	12	オ	12	9	カ

① オにはいる数は、何をあらわしているでしょう。

② カにはいる数を求めましょう。  
式

〔① 知識・理解〕

答え

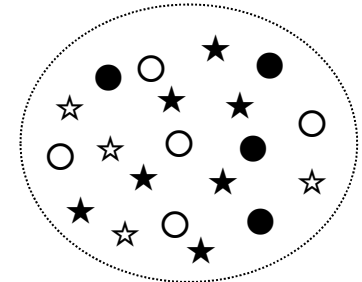
③ どの場所でどのけがをした人が1番多いでしょう。

○ 次の問いに答えましょう。

④ 右の図のほしとまるの数を調べてまとめます。次の表を完成させましょう。

ほしとまるの形と色調べ（こ）

形	色		合計
	しろ	くろ	
ほし			
まる			
合計			



〔②, ④ 技能〕

○ 次の表は、ともみさんの学級で、算数や国語が好きな人ときれいな人を調べて、まとめたものです。次の問いに答えましょう。

算数と国語の好ききらい調べ（人）

		国語	
		好き	きらい
算数	好き	16	4
	きらい	3	2

⑤ 算数と国語のどちらも好きな人は何人でしょう。

⑥ 算数がきれいな人は何人でしょう。

⑦ 表の中の4は何をあらわしているでしょう。ことばでかきましょう。

⑧ 算数、国語のどちらか一方でも好きな人は何人でしょう。

〔③, ⑤~⑧ 考え方〕

小学校第4学年 単元別確認テスト15

出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

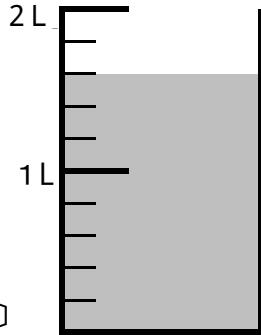
単元名		〔13 調べ方と整理のしかた（啓林館下 P59～P66）〕〔1 折れ線グラフと表（東京書籍 P14～P16, P18）〕							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。 ア 資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	表の項目の意味を理解している。	切りきずをした人の合計人数			○		○	90%	
②	表から値を正しく読み取り、答えを求めることができる。	(例) ①に入る数は $4+2=6$ $12+6+12+9=39$ 答え 39		○			○	90%	
③	表から問われている複数の項目を読み取り、答えを考えることができる。	運動場ですりきずをした人	○				○	80%	
④	落ちや重なりなく資料を分類・整理し、表にまとめることができる。	上段左から, 4, 7, 11 5, 4, 9 9, 11, 20		○			○	80%	
⑤	問われている項目を表から読み取り、答えを考えることができる。	16人	○				○	85%	
⑥	問われている項目を表から読み取り、答えを考えることができる。	5人	○				○	80%	
⑦	問われている項目を表から読み取り、答えを考えることができる。	算数が好きで、国語がきれいな人の数	○				○	80%	
⑧	問われている項目を表から読み取り、答えを考えることができる。	23人	○				○	75%	
合 計 8 問			5	2	1	0	5	3	83%

単元名 [分数(啓林館)] [分数(東京書籍)]	①②	③~⑤	⑥~⑧	得点
	( / 2)	( / 3)	( / 3)	( / 8)
<b>4年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )</b>	知識・理解	技能	考え方	

○ 右の図の水かさは、何Lでしょう。帯分数と仮分数で表しましょう。

①帯分数：

②仮分数：



[①② 知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。

③  $2\frac{1}{3} + 1\frac{1}{3}$

④  $3\frac{4}{5} + 1\frac{3}{5}$

⑤  $5\frac{2}{9} - \frac{7}{9}$

[③~⑤ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 2 3 4 5 6

上のような5まいのカードがあります。  
この5まいから2まいのカードをえらんで分数をつくります。  
つくった分数のうち、整数で表すことのできる分数をすべてかきましょう。

<div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> <hr style="width: 30px; margin: 0 auto;"/> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	
--	--

⑦ 牛乳が2Lあります。ホットケーキをつくるために  $\frac{5}{7}$ L、  
ミルクティーをつくるために  $\frac{4}{7}$ L 使いました。残りは何Lでしょうか。  
式

答え

⑧ みどりさんは、 $0.5+0.2=0.7$  になることを次のように説明しました。

(説明)  
0.5は0.1が5つ。                      0.2は0.1が2つ。  
0.1が(5+2)つ分あるので、答えは0.7です。

この考えをさんこうにして、次の分数の計算のしかたを説明しましょう。

$$\frac{3}{5} + \frac{4}{5} = \frac{7}{5}$$

$$= 1\frac{2}{5}$$

(説明)

[⑥~⑧ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト16 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[14 分数 (啓林館下 P68~P77)] [13 分数 (東京書籍下 P78~P89)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(6) 分数についての理解を深めるとともに, 同分母の分数の加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 簡単な場合について, 大きさの等しい分数があることに着目すること。 イ 同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え, それらの計算ができること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	図の水のかさを, 帯分数で表すことができる。	$1\frac{3}{5}$ L			○		○		90%
②	図の水のかさを, 仮分数で表すことができる。	$\frac{8}{5}$ L			○		○		90%
③	同分母の分数の加法ができる。	$3\frac{2}{3}$		○			○		90%
④	同分母の分数の加法ができる。	$5\frac{2}{5}$		○			○		90%
⑤	同分母の分数の減法ができる。	$4\frac{4}{9}$		○			○		90%
⑥	分母と分子の数の組み合わせから, 整数になる分数を考えることができる。	$\frac{4}{2}$ $\frac{6}{2}$ $\frac{6}{3}$	○				○		80%
⑦	問題文を読み取り, 分数の計算を使って答えを考えることができる。	$2 - \frac{5}{7} - \frac{4}{7} = \frac{5}{7} - \frac{5}{7}$ L	○				○		80%
⑧	単位分数の個数をもとにして, 分数の加法の仕方を説明することができる。	$\frac{3}{5}$ は $\frac{1}{5}$ が3つ。 $\frac{4}{5}$ は $\frac{1}{5}$ が4つ。 $\frac{1}{5}$ が(3+4)つ分あるので $\frac{7}{5}$ になる。 $\frac{7}{5}$ は帯分数になおすと $1\frac{2}{5}$ になる。	○					○	70%
合 計 8 問			3	3	2	0	7	1	85%

単元名：〔変わり方(啓林館)〕〔変わり方調べ(東京書籍)〕	①② ( / 2 ) 知識・理解	③⑥ ( / 2 ) 技能	④⑤⑦ ( / 3 ) 考え方	得点 ( / 7 )
4年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )				

○ 次の問いに答えましょう。

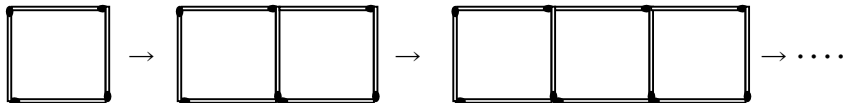
① 次の2つの量の関係で、「一方がふえるともう一方もふえる」ものをすべて選び、記号で答えましょう。

- (ア) 飲んだお茶の量と、のこったお茶の量
- (イ) ふろに水を入れたときにかかった時間と、たまった水の量
- (ウ) マラソン大会で走った時間と、ゴールまでののこりの距離

○ 長さが20cmのひもを使って長方形をつくります。できる長方形のたての長さ<sup>たて</sup>と横の長さの関係について、次の□にあてはまることばや数をかきましょう。

② たての長さが1cm, 2cm, 3cmとふえると、  
横の長さは

[①② 知識・理解]

○ マッチぼうを次の図のようにならべていきます。  


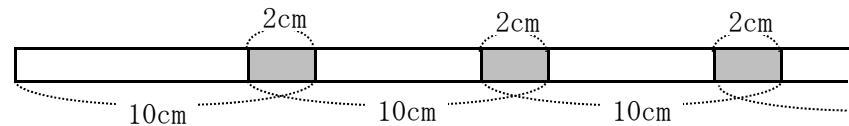
③ 下の表に、マッチぼうの数をかきましょう。

正方形の数 (こ)	1	2	3	4	5	
マッチぼうの数 (本)						

④ 正方形の数が20このときの、マッチぼうの数を求めます。マッチぼうを一つ一つ数えなくても、求められるよい方法を考えて、説明しましょう。

⑤ 正方形の数を□こ、マッチぼうの数を○本として、④で考えたことを、式に表しましょう。

○ 長さが10cmのテープを図のようにつないでいきます。のりしろは2cmです。次の問いに答えましょう。



⑥ テープを1本, 2本, 3本, ...とつないでいくと、全体の長さはどうに変わるでしょう。下の表に、全体の長さをかきましょう。

テープの数 (本)	1	2	3	4	5	
全体の長さ (cm)	10					

[③⑥ 技能]

⑦ 全体の長さが74cmのとき、つないだテープの本数を求めましょう。

[④⑤⑦ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト17 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

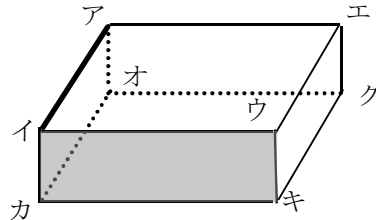
単元名		[15 変わり方(啓林館下P80~P86)] [11 変わり方調べ(東京書籍下P46~P52)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(1) 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができるようにする。 ア 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	伴って変わる2つの数量の関係が分かる。	(イ)			○	○			90%
②	伴って変わる2つの数量の間の変化の様子ที่分かる。	9cm, 8cm, 7cmとへる。			○		○		90%
③	2つの数量の関係を表に表すことができる。	左から4, 7, 10, 13, 16		○			○		80%
④	2つの数量の対応のきまりを見出し、正方形20この時のマッチ棒の数を求める方法を考えて、説明することができる。	正方形が一個増えるとマッチ棒の数が3本増えるというきまりを使うと、正方形が20個のときは $3 \times 20 = 60$ 最初の1本を加えて61本 マッチ棒は61本になる。	○					○	70%
⑤	2つの数量の対応のきまりを見出し、式に表すことができる。	$3 \times \square + 1 = \bigcirc$ ( $\square \times 3 + 1 = \bigcirc$ )	○				○		80%
⑥	2つの数量の関係を表に表すことができる。	左から18, 26, 34, 42		○			○		80%
⑦	2つの数量の対応の決まりを見出し、つないだテープの本数を考えることができる。	9本	○				○		70%
合計 7 問			3	2	2	1	5	1	80%

小学校第4学年 単元別確認テスト 18

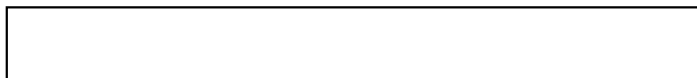
単元名	〔直方体と立方体（啓林館）〕〔直方体と立方体（東京書籍）〕	①②	③～⑤	⑥⑦	得点
4年	( )組 ( )番 名前( )	( / 2)	( / 3)	( / 2)	( / 7)
		知識・理解	技能	考え方	

○ 次の直方体を見て、問いに答えましょう。

- ① 辺アイに垂直な辺をすべてかきましょう。



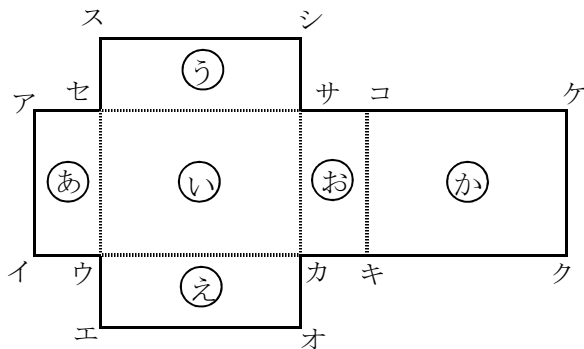
- ② 面イウキカと平行な辺をすべてかきましょう。



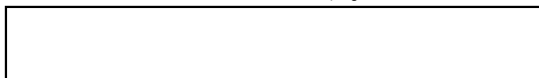
〔①② 知識・理解〕

○ 次の展開図を見て、問いに答えましょう。

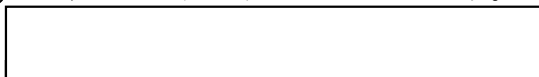
- ③ 組み立てたとき、頂点ケと重なる頂点をすべてかきましょう。



- ④ 組み立てたとき、辺エオと重なる辺をかきましょう。



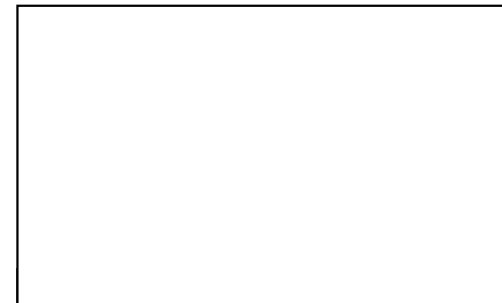
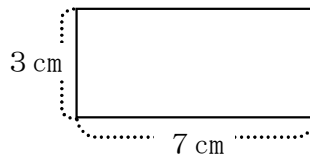
- ⑤ 組み立てたとき、面(お)と垂直になる面をすべてかきましょう。



〔③～⑤ 技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑥ 直方体をつくるために、次の図のような長方形を4枚切り取りました。ほかに、どのような形・長さのものが何枚あればよいでしょう。



- ⑦ たて25 cm、横20 cm、高さ10 cmの直方体の形のはこがあります。このはこに次の図のようにひもをかけて結びます。結び目に50 cm使います。全部で何 cm のひもを使うことになるでしょう。



答え

〔⑥⑦ 考え方〕

小学校第4学年 単元別確認テスト18 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔16 直方体と立方体（啓林館下 P88～P101）〕 〔14 直方体と立方体（東京書籍下 P90～P102）〕							
〈学習指導要領〉		(2) 図形についての観察や構成などの活動を通して, 立体図形について理解できるようにする。							
C 図形		ア 立方体, 直方体について知ること。 イ 直方体に関連して, 直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	直方体の辺と辺の垂直関係を理解している。	辺アエ 辺イウ 辺アオ 辺イカ			○		○		80%
②	直方体の面と辺の平行関係を理解している。	辺アエ 辺オク 辺エク 辺アオ			○		○		80%
③	展開図から頂点の位置関係をとらえることができる。	頂点ア 頂点ス		○			○		80%
④	展開図から辺の位置関係をとらえることができる。	辺クキ		○			○		80%
⑤	展開図から面の位置関係をとらえることができる。	面(い) 面(う) 面(え) 面(か)		○			○		80%
⑥	直方体の面の特徴をもとに, 構成要素の面の形・個数を考えることができる。	1辺3cmの正方形が2枚必要である。 または 1辺7cmの正方形が2枚必要である。 (どちらか一方がかけていれば正解)	○				○		70%
⑦	直方体の面の数をもとにして, 辺の長さの関係を考えることができる。	$25 \times 2 + 20 \times 2 + 10 \times 4 + 50 = 180$  180cm	○				○		70%
合 計 7 問			2	3	2	0	7	0	77%